

奥只見観光(株) 奥只見湖遊覧船の安全対策について

当社は昭和 37 年 5 月に船舶営業を開始し、以後 60 年間無事故で営業しており、平成 19 年 7 月北陸信越運輸局長より無事故表彰をうけております。

今後も全ての「安全」を最優先に、従業員の安全意識を更に高めるとともに、設備の点検・整備を確実にを行うことで、お客様の安全を確保いたします。

また万が一の事態に備えた従業員への救助、救難等の教育訓練を確実に行っております。

具体的な安全対策は以下の通りです。

○安全管理規定(運航基準、作業基準、事故処理基準)の遵守

- ・各船舶及び奥只見発券所、銀山平発券所、当社ホームページに掲載のうえ遵守しています。
- ・気象条件等（風速・波高・規定等）による運航可否判断基準は「運航基準」で定めています。

○法令による検査

- ・「ファンタジア号」は北陸信越運輸局による浮上検査(法令検査)を毎年実施しています。
- ・「おぜ」「しおり丸」「新はっさき丸」は日本小型船舶検査機構による浮上検査(法令検査)を毎年実施しています。

○船体等の安全対策について

- ・船舶全 4 隻は、遊覧船営業終了後の毎年 11 月から翌年の 5 月迄の期間に銀山平艇庫内に陸揚げして専門業者によるメンテナンス及び安全点検を実施しております。
- ・営業期間中は毎日の運航前点検を実施しています。

○船舶乗務員(船長、甲板員)の安全教育

- ・船舶営業開始前に船舶安全教育を実施しています。
- ・定期的に機関故障時、落水者救助、救命処置、火災消火等を想定した訓練を実施しています。

○事故予防措置

- ・毎日の各船舶の運航前点検の実施しております。
- ・毎朝、気象状況(天候、風速、雨量)、危険ポイント、アルコールチェック及び水位の確認をして運航可否の判断をします。
- ・前日に荒天(台風、爆弾低気圧)の予報がある場合は、翌日の気象情報を収集し、早期に運航可否の判断をします。

○非常時の脱出手順

- ・全船舶に救命浮器、救命胴衣を装備し、お客様の誘導を確実にを行います。
- ・必要に応じ、速やかに救助船を手配します。

○救命浮器及び救命胴衣の装備

- ・「ファンタジア号」300名「おぜ」150名「しおり丸」100名「新はっさき丸」50名、各遊覧船の定員分の救命浮器および規定数量の救命胴衣を装備しています。

○緊急時の連絡方法について

- ・船舶本社(奥只見発券所)から各船舶航路は無線にて全てをカバーし良好な通信状態を維持しています。
- ・通信状態の確認及び船舶運航状況を銀山平航路、尾瀬口航路それぞれの中間地点にあるチェックポイント(中ノ又、恋ノ又)通過時に船舶本社に無線にて連絡を行っています。

○万が一の船舶事故の発生に備えて、「船客障害賠償責任保険契約(一般社団法人 日本旅客協会)」に加入しています。

以 上